

—平成 30 年度千葉県代協第四回 C S R 委員会議事録—

**出席者：**佐藤隆二（安房） 四方裕伸（市原） 東條史（京葉） 和田司（千葉） 鈴木正雄（銚子） 池辺晃司（東葛） 小倉滋彦（北総中川信秀委員代理） 伊藤綱人（茂原）  
**オブザーバー：**小口泰伸（会長） 欠席青木繁（木更津） 敬称略

**開催日時：**3月20日(水)15:00～17:00 於：千葉代協事務所

**報告事項：**初めに日本代協の C S R 委員会関連情報共有を行った。次年度も地震保険普及 C P 等の広報普及活動推進。ぼうさい探検隊マップコンクールの団体募集推進。千葉代協の独自取組みの創造と展開。サイバーセキュリティの強化啓蒙が新設されたことを確認した。

次に各支部の委員から平成 31 年 1 月 24 日～3 月 19 日迄の C S R 活動について報告いただいた。和田委員から自身が所属する他団体での小児がん患者へのヘアドネーション活動の紹介があった。四方委員から市原市のセミナー出前事業(お出かけ君)を活用した女性差別防止、自殺防止の勉強会の紹介があった。

**協議事項：千葉県代協の独自色の追求** 日本代協で推奨している「各県代協の独自色ある C S R 活動」千葉県においては安房支部で 2 回開催した「過去の地震津波に学ぶ防災安全セミナー」を茂原支部でも 2 月 7 日に開催し参加者から好評を得た。安房支部の間立氏のアドバイスも受けながら今後『罹災の歴史に学ぶ防災と減災』を県内各代協で展開を目指したい。

**ぼうさい探検隊マップコンクール**について、委員長からクイズ形式で意義について共有を図った。昨年(2018 年)発生した大阪北部地震で、犠牲になった女子児童三宅璃奈さんの事例から、もし三宅さんがぼうさい探検隊マップコンクールのマップ作りに参加していて、危険なブロック塀のある側を避けていたならば一命を取り留めた可能性があること、ぼうさい探検隊マップコンクールを案内することは、第二、第三の三宅さんの悲劇を生み出さないためにとっても大切であることを共有した。また応募団体の最小単位は小学生 2 名で、兄弟姉妹、友達同士でも OK で、学校単位にこだわる必要がないことを再度確認した。

昨年度千葉代協から応募いただいた小学校 8 校の参加児童数はのべ 374 名でマップ数は 59 枚に上る。小学校数と参加人数は全国 47 代協中ともに 2 番目でありながら応募団体があった支部が市原と茂原支部にとどまったことが次年度への課題にあげられた。

2019 年度、千葉県代協は目標団体数 15 団体と高い目標を掲げ、三冠王の自主目標に設定した。その達成のためには、オール千葉県代協の協力が不可欠で、全支部から最低 1 団体の申し込みをお願いした。なお 2019 年度の締切り日は 11 月 6 日になっている。(※マップごとの応募も OK であり、1 校から数枚出している学校はグループで 1 団体としてカウントされる。)

**赤い羽根共同募金寄付先選定** 検討の結果、今年度は寄付先を子どもに対する支援(ミルフィューユ小児ガンボランティアズ)孤立・虐待・自殺防止支援(いこいの会)とした。

**次年度活動方針** 今年度を総括しながら次年度活動方針を策定した。今年度同様、委員会と街頭活動を併催していくこととした。また次年度の盤洲干潟清掃開催日(5 月 19 日)を伝えた。

**今後の開催予定：**6 月 6 日(木)15 時から代協事務局で第 1 回委員会を実施 以上